

瑞光院

瑞光院は圓教寺内の塔頭六院の 1 つである。歴史的に、それぞれの塔頭は、通常はカリスマ的な住職と特定の經典や仏に焦点を当てた個別の一連の修行や教えを中心とした檀家によってより幅広く圓教寺の共同体を支えている。瑞光院の歴史についてはほとんど知られていないが、寺院の門の近くにある額には、訪れる巡礼者のための宿坊としての役割が記されている。今日、この塔頭はその美しい風景で有名である。瑞光院の素朴な土の外壁と秋の鮮やかな紅葉は、結婚写真撮影にピッタリな背景になっている。瑞光院の真向かいには、大黒天が納められた小さな神社があり、大黒天は神仏習合の考えにおける健康、農民、食、そして幸運の神である。近くには、姫路市で生まれた有名な歌人、初井しずゑ（1900～1976）を称える詩石がある。